

ニ至リ

2、昭和十一年三月社員及工場従業員ノ申心トソ賃銀未拂ニ及
端争謗發生ノ為メニ社長長谷川喜治ハ一切ノ會社ノ権利義
務ヲ讓渡シ經營及处分等ヲ社員ニ委任ノ止ムナキニ至リ
應解決セリ

以來社長擁護派タル發行人三完健壽等ハ社長ニ同情シ四月
七日外ナニ七名ノ社長擁護社員ト共ニ社長復帰運動ヲ開始セ
ルカ一方反對派タル社員及工場従業員水田重吉外七名
ハ猛烈ニ之レニ反對シ互ニ抗争ヲ續ケタルモ折衝ナル結果
漸ク復帰シ再ヒ長谷川喜治ハ社長トニテ一切ノ権利ヲ取得
スルニ至シリ

3、然ルノ社内ニ於ケル派閥的抗争ハ終局スルニ至ラズ依然及
目ノ一方會社經營ハ不振ヲ續ケ企ニ一年十月再度賃銀不払
問題ニ基因ニ工場従業員ハ爭議發生セリ之問題附支払ヲ參
究トシニ解決セリ

4、前記期後附賃銀支払ト不履行ト會社經營ハ不安定ニ體ニ更
ニ本年三月一日工場従業員三十名ハ農業ニ事變稍云悪化
ノ傾向アリタルニ三月十五日

5、會社ハ未払給料一千四百三円也ヲ本日支払フコト(三月十五日)
口従業員ハ解決ト同時ニ就業スルコト
ハ會社ハ今後従業員ヲ整理セサルコト
會社解散ノ場合ニ於キハ退職手当金一万円ヲ支給スルコト
等ヲ条件トシニ解決セリ

6、社長ハ本年三月達成以來會社ノ務敷ヲ計画ニ四月二十二日小
川江表町五十三番地所在勸業銀行所有ノ木造瓦葺三層建
タ